



ガチ議論

日時:12月3日(木) 18:45~20:45

会場:第14会場(神戸国際会議場 1階 メインホール)

日頃、「文科省のおかげで大学(研究所)がめちゃくちゃだ!」とお怒りの皆さん。お待たせしました。ガチ議論が2年ぶりに帰ってまいります。今回は、文科省対話型政策形成室のご協力を得まして、山口科学政策担当大臣にもご出席いただける予定(国会の事情によりドタキャンの可能性あり)。ラスボスがそこにいるので、ガチ議論の場での要望は、間違いなくトップに届きます。ですが、届けば叶うわけではありません。単に「もっと予算をよこせ」と叫ぶだけでは何も起こらない。我々科学者は「知的な」集団であるはずですが、納得せざるを得ない論理とデータで説得しましょう。ラスボスを味方に引きずり込みましょう。それができるかどうかで、明日の生命科学の環境は大きく変わるはずですが。

今年のテーマについては、現在検討を進めていますが、それをやるにも皆さんのご協力が必要です。単なる非難のやりあいにならないように、研究者サイドからの問題点を整理し、それを文科省側に振り、事前に論点を煮詰めることで、当日の議論を有意義なものにしたいと考えます。研究者側にも立場(学生、P D、P I、大御所)の違いにより意見が大きく異なると思われそうですが、それも、一切合財飲み込んで、形式的でないガチな議論をしたいと考えます。

詳しくはガチ議論HP (scienceinjapan.org)をご覧ください。

主役は、参加するあなたです。